

社会科 9年生 単元名『現代社会の見方や考え方』授業実践・授業研修	
日時	7月17日(水)1時間目、3時間目
授業者	河原 洸亮
本時のねらい	対立と合意、効率と公正の視点に基づいて、それぞれのカードの場面について「認められるべきちがい」か「認められるべきではないちがい」かを判断し、他者に説明するとともに、自分の意見や考えを吟味することができる。
単元・題材計画	社会集団で生きる私たち……………2時間 きまりの目的と意義……………2時間 効率と公正……………2時間(本時2/2)
授業の実際 (本時の流れ)	・前時の振り返りとして、社会の見方・考え方としての「対立と合意、効率と公正」を確認する。 ・本時の学習課題を設定する。 ・9つのテーマについて、「認められるべきちがい」かどうかを個人で判断し、分類を行う。 ・分類の結果について他の人と意見交流を行い、自分の判断の結果や過程を振り返らせる。
事後協議の概要	生徒たちの活発な意見交流が見られた一方で、判断の根拠や基準が明確になっていない話し合いが散見されたことや、テーマが多く、視点や論点が拡散していたことが課題である。また「効率と公正」や本校の研究主題である「受容と共感」を意識させるためには、個人の考えを言語化させる時間と、他者と比較する時間を単元計画の中にそれぞれ位置付ける必要がある等の改善点があげられた。

